

つながっぺ!
おおくま

なごみ

Vol. 1

平成 23 年

7 月 1 日発行

発行：社会福祉法人
大熊町社会福祉協議会

〒965-0873

会津若松市追手町 2 番 41 号

(会津若松市役所 追手町第二庁舎内)

電話 0242-29-5760 FAX 同 5761

「つながっぺ! おおくま」開所式



6 月 14 日 (火) に生活支援ボランティアセンター「つながっぺ! おおくま」の開所式を会津若松市役所第二庁舎において開催いたしました。避難をされている町民の皆さんが少しでも安心して生活ができるよう、つながりがたもてるよう、お互いに支えあう仕組みづくりなどを進めていきます。

今後センターではボランティアを募り、仮設住宅への引越し手伝いや避難生活での困りごと相談など皆さんのニーズにお応えしてまいりますので、ぜひセンターまでお越し下さい。

ボランティア受付開始!

生活支援ボランティアセンター「つながっぺ! おおくま」開設にあたり活動に協力して下さるボランティアを募集しております。

「私は何かお手伝いがしたい」「私はこんなお手伝いができるよ」という方、一緒にはじめませんか? みんなでつながればどんなことでもできます! みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

また、ご要望やお困りごとなどありましたらどんなことでも構いませんので、お気軽にセンターまでご連絡ください。



お問い合わせ・ご相談先

つながっぺ! おおくま 電話 0242-29-5760

原瀧インタビュー

東山温泉原瀧の多目的スペースでは避難の方たちが集まって交流事業を行っております。

6月13日(火)には、「タオル帽子会あいづ」の協力のもとで病気により髪がなくなってしまった方のためにタオルを使った帽子作りが行われました。また、6月15日(水)には、大熊町で接骨院を営んでおりました植田和徳さんの指導のもとで健康体操が行われました。「ひだまり」は毎週水曜日9:30~11:00で開催されています。

参加した人たちからは、「みんなとの交流で体を動かしたり、笑ったりと楽しい時間を過ごせる」と笑顔で話してくれました。



帽子づくり



健康体操

掲示板を設置しました

会津若松市が行っている避難者向け支援物資館に掲示板を設置しました。今後の生活に役立つ情報を掲示していきますのでぜひご覧ください。



職員紹介



手前右から時計回りに、武内智恵美、渡部正勝、遠藤仁美、井崎鉄也(千葉市社協)、半杭裕明、志賀翔一、打譯亮司(千葉市社協)



生活支援ボランティアセンター「つながっぺ!おおくま」
(大熊町社会福祉協議会)所在地

〒965-0873

会津若松市追手町2-41

会津若松市役所追手町第二庁舎内

Tel 0242-29-5760 Fax 0242-29-5761